

報告事項 6

学力学習状況充実プランについて

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成25年3月26日

義務教育課

「平成24年度 学力学習状況充実プラン」の概要(案)

義務教育課では、全国学力・学習状況調査における本県の結果について、全国の平均正答率や質問紙調査の回答等との比較を通して分析し、学力向上に向けた改善の指針を示すことにした。

1 教科に関する調査の全体傾向

全国の平均正答率を下回ったのは、小学校国語のA問題、小学校算数のA問題である。中学校は、全国に比べ全体的に高い傾向にあり、特に数学、理科が高い。

<教科ごとの主な傾向と課題>

○ 小学校

国 語… A問題の平均正答率は、全国平均よりやや低く、B問題はほぼ同程度であった。

記述式の正答率が平成19年度調査以来5年ぶりに全国平均を上回った。これまで、継続して課題にあげてきた漢字の読み書きは、以前よりも改善の傾向が見られるものの、全国平均よりも低い。聞いたり読み取ったりしたことを、その目的や意図に応じて、話したり書いたりする問題の平均正答率がやや低い。

算 数… A問題の平均正答率は全国平均よりやや低く、B問題は全国平均とほぼ同程度であった。

A問題の課題は、図形の性質を根拠に筋道立てて考えることである。この傾向は、調査開始以来続いており、今回は全国との差が大きくなった。前回、記述式の問題は、全ての設問で正答率が全国平均を下回ったが、今回は正答率が全国平均を上回った。

理 科… 平均正答率、設問毎の正答数の分布は、全国とほぼ同様の傾向であった。

「知識」に関する問題と「活用」に関する問題では、主に「活用」に関する問題の平均正答率が高かった。乾電池や光電池、電磁石のはたらきなどのエネルギーに関する問題の正答率が低く、全国平均よりも低い。また、「受粉」などの大切な用語の理解が不十分である。

○ 中学校

国 語… 平均正答率は全国とほぼ同程度で、全国を大きく下回る問題はなかった。

本県の中学生は、正答率の低い問題でも無回答率が低く、難しい問題に対しても粘り強く回答しようとする姿勢がうかがわれた。相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く問題や、語句の意味を理解し文脈の中で適切に使う問題は、平均正答率が低かった。

数 学… これまで同様、A問題、B問題ともに全国の平均正答率を上回った。

平均正答率が全国より低かった設問6問のうち4問が、「図形」に関する設問であった。特に、図形に関する公式の理解や作図に関する問題の平均正答率が低かった。この学年が小学校6年の時に課題であった「数量関係」が大きく改善された。中でも、関数に関する設問の正答率が高く、指導の成果がうかがわれた。

理 科… 全ての領域、観点の平均正答率が全国平均を上回った。

その中で、予想や仮説に基づいて観察や実験を計画すること、自然や実生活に知識や技能を当てはめて考えることについては、他の設問に比べ、平均正答率が低かった。

2 質問紙調査から見られた課題

<児童生徒質問紙>

- ・ 国語や算数・数学において、「勉強が好きか、授業の内容はよく分かるか」に対して肯定的な回答をしている児童生徒の割合は増加傾向にあるが、依然として全国平均を下回っている。「理科の勉強が好きか」「観察・実験は好きか」「ものづくりは好きか」などの設問では、肯定的な回答が全国を上回った。
- ・ 小・中ともに宿題をしている割合は全国平均より高いが、自分で計画を立てて勉強したり、授業の復習をしたりしていると回答した児童生徒は少ない。
- ・ 小・中とも読書好きの割合が70%前後で、全国平均と比較するとやや低い。
- ・ きまりや約束を守るという規範意識は全国平均よりも高い。

<学校質問紙>

- ・ 全国と比較すると、国語において、目的に応じて話したり聞いたり、様々な文章を読んだり書いたりする習慣を付ける指導が少ない。また、小学校の算数や中学校の数学・理科で、実生活における事象との関連を図った授業を実施していると回答した学校が全国の平均値よりも低い。
- ・ 全国と比較すると、校内研修において授業研究がよく行われている。反面、インターネット等を活用した授業を実施している学校が少なく、発展的な学習、補足的な学習等の指導についても全国に比べ低かった。
- ・ 全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の学力調査の結果等の活用が少ない。

3 愛知県全体の傾向を踏まえた、県としての改善の指針

<改善の指針1> 読んだり聞いたりしたことを表現する活動や、学習内容と実生活の関連を重視した指導を充実させる。

<改善の指針2> 個に応じたきめ細かい指導を充実させる。

<改善の指針3> 学習への関心を高めるため、授業改善を推進する。

<改善の指針4> 家庭学習への意欲や習慣付けを促すための手立てを検討する。

<改善の指針5> 読書習慣を形成するために、読書に親しむ機会を増やす。